

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(21年10月分)

1. 調査実施期間 平成21年 9月20日 ~10月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

10月分の回答企業数は44社、回収率は93.6%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		21/10月	11月	12月
仕入動向	国産材	△ 5.9	△ 4.4	△ 13.6
	外材	△ 15.9	△ 7.3	△ 15.0
販売動向	国産材	△ 7.6	△ 4.5	△ 17.2
	外材	△ 3.7	1.2	△ 12.5
在庫動向	国産材	△ 5.9	△ 10.3	△ 9.1
	外材	△ 10.5	△ 13.2	△ 12.2

仕入国産材は先行きのマイナスを一層大きくして深刻な様相。また外材は上下あるが大きなマイナスが横ばいで弱い。

販売も国産材、外材とも同様にマイナス大きくして年末に向け後退基調で勢い失くしている。

在庫は国産材、外材ともマイナスほぼ横ばいと多少過多気味。

荷動き動向全ての項目が、年末に向けて大きなマイナスで、期待が全く持てない状況である。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	21/10月	11月	12月
スギ正角(グリーン)	△ 4.2	0.0	0.0
スギ正角(KD)	△ 2.0	0.0	0.0
ヒノキ正角	△ 2.0	0.0	2.1
ヒノキ土台角	7.7	1.9	4.0
米ツガ正角(現地挽)	2.1	2.1	0.0
米ツガ防腐土台角	△ 4.0	△ 2.0	△ 2.1
米ツガ割物(現地挽)	2.0	6.0	2.1
米マツ平角	△ 4.2	△ 2.1	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	0.0	2.0	0.0
ホワイトウッド集成管柱	13.0	5.6	1.9
レッドウッド集成平角	2.4	2.4	0.0
型枠合板(国産)	15.8	2.6	2.6
型枠合板(輸入)	18.2	2.3	2.4
針葉樹合板	18.2	6.8	7.1

スギ正角(グリーン、KD)、ヒノキ正角は先行きゼロないし小幅のプラスだが、ヒノキ土台角はプラス基調で好調が継続。

米ツガ割物はプラス基調で堅調。北洋アカマツタルキも小幅のプラスないしゼロ、マツ平角もマイナスからゼロとなり、明るさが出ている。しかし米ツガ防腐土台はマイナス基調で推移。

WW集成管柱の先行きプラス幅は大きく縮まり、RW集成平角もゼロとなったが回復模様に変わりはない。

型枠・針葉樹合板ともプラス幅が一気に縮まったが、引き続き強含み基調。なお、荷動きと価格の動向の勢いのズレについて今後注視が必要だ。

1. 荷動き		コメント	
仕 入 動 向		米マツ一般材丸太では、米国材輸出価は9月積みも据え置かれた様子。カナダ材はオールドグロス強含み、セカンドグロス保合いは変わらないものの、中国向け引合いが活発な事から、反発する可能性が大きい。アラスカスプルーース丸太は日本、中国、韓国総てに向けて輸出価は値上げとなった。(東京:米材問屋) 現地ドル価格は上昇。円高で相殺されている。(東京:米材問屋) 各社とも売れるモノを持っていない。売れないモノの在庫が溜まる一方である。(東京:米材問屋) 為替の状況にも係わらず新規オーダーは少ない。(東京:南洋・中国材問屋)	
		外材は少ない。需要が出れば仕入れ値はあがるが、そこまでの荷動きを期待できない。(東京:外材集成材問屋) 欲しい材は注文すればすぐ入荷する。(東京:南洋材問屋) 荷動き・先行き不透明。積極性なし。(東京:国産材問屋) これ以上下がらないので、余裕があれば仕入れたい。(東京:外材問屋)	
		産地の注目は完全に日本以外に。現地の工場に原料はあるが日本に振り向けられてはいない。(東京:南洋・中国材問屋) 新材が出るので仕入れは増す。(東京:国産材問屋) 秋需感じられず。(東京:国産材問屋)	
		9、10月と必要な物以外は仕入れしていない。(東京:国産材問屋) 10月はプレカット工場の仕事量もやや上向きだが、11月以降不透明。先々製品価格が上昇気配ではあるが、動きはあまりない。仕入れ、在庫、横ばい。(東海:外材問屋)	
		まったく動き悪く、動き出す気配がない。(東海:外材問屋) 荷動きに変化はまだなし。(大阪:仲買小売) スギ材は10月に入って若干入荷増。ヒノキは土台を筆頭に若干少ない。(東海:国産材問屋)	
	販 売 動 向		米マツ丸太京浜マーケットでは、月を追ってメーカーの丸太消費量は減少しており、内地材丸太併用で何とか工場を回している。問屋もボリュームを押し込めず、価格維持がやっと。(東京:米材問屋) ツガ、マツともにKD角、割物に不足材が出ている。(東京:米材問屋) 小口ながら若干荷動き。(東京:国産材問屋) 徹底した当用買いにより、非常に細かい商売になっている。(東京:米材問屋) 受注件数は増えてきたが、量・金額ともに小さい。顧客の力の差が開いてきた感じがする。(東京:南洋材問屋) 新材のコストは低く、旧材とのバランス微妙。年内で切り替わる。(東京:南洋材問屋)
			まとまった仕事が出始めている。(東京:南洋・中国材問屋) 9月下旬から少々売行きが落ちてきた。(東京:外材問屋) 9-10月、ビルダーには多少仕事出ているが、地場工務店は取れていない。(東京:国産材問屋) 小口の注文が多く、即納の現場が多い。(東京:国産材問屋)
			店舗改修工事減のため、外材内装材の販売減少。(東京:国産材問屋) 国内の政策次第では一段の悪化も。(東京:国産材問屋) 細かい、納期が無い注文材が多い。(東京:国産材問屋) 秋需本番だが先が全く見えてこない。このまま年末まで行きそうだ。欠品が結構あるが誰も慌てていない。(東京:国産材問屋)
			荷動き一進一退状況。2-3ヶ月前より良くなっているが、上向き傾向が定着・底固めしたとは言いきれない。(東京:仲買小売) 「見積り金額が合わないので仕事を断っている」工務店がある。売上全く無い工務店が増えている。(東京:仲買小売) とにかく売行きが悪い。先の見通しつかず、いつまでガマンすればいいのか？ (東京:仲買小売)
			建築、土木業界の動きが悪すぎる。こんな暇な秋期の商いは初めて。(東海:仲買小売) 今月は上棟もあり少し仕事も出た。来月に期待する。(大阪:仲買小売) 国産材、外材とも販売苦戦。(東海:仲買小売)
在 庫 動 向			京浜へは米マツ丸太中心に本船一杯の入荷があり、問屋持ち在庫は増加している。引き続き保管料負担が重くのしかかっている。(東京:米材問屋) 現状の在庫数量を維持する予定。(東京:国産材問屋)
			漸減傾向は相変わらずである。(東京:米材問屋) 入・出荷のバランスはとれている。(東京:南洋・中国材問屋) 港頭在庫は非常に少ない。(東京:米材問屋)
			相変わらず埠頭在庫は少ない。夏以降新規の入荷も少しづつ見られるが殆どは売り先が決まっている。(東京:南洋・中国材問屋) 適正在庫だけは確保しておきたい。(東京:外材問屋) 在庫少し多いかも。(東京:南洋材問屋)
			出荷が小口なので在庫補充に動くほどでもない。結局在庫量は漸減。(東京:仲買小売)
2. 価格動向			
スギ正角	現在底値だと思ふ。これからの需要如何では強含むかも。(東京:問屋) KD柱、荷動き不振。(東京:問屋) やや動きを感じる。(東京:仲買小売)		
ヒノキ正角	高温乾燥背割りなしプレーナーの動きが良い。(東京:問屋KD土台やや上昇か？ (東海:問屋) 品薄気味、丸太高止まり、製品価格保合い。(東京:問屋)		
土台角	原木供給減のため、土台価格少し上昇。(大阪:仲買小売)		
米ツガ	値上げ出来るほどマーケットの迫力は感じられない。(東京:米材問屋、米マツとも特に変化なし。(東海:問屋) 入荷少ない。川上強く頑張っているが、川下相変わらずの仕事不足。(東京:仲買小売)		
米マツ平角	無風といった感じ。グリーン材は益々売れない。(東京:問屋)		
北洋アカマツタルキ	入荷不足のためA級品頑張っているが、B級品やや弱い。総じて横ばい。(東京:仲買小売) 一部メーカー品、値上げのアナウンスがあるが現実にはいならず。(東京:仲買小売)		
WW・RW	川上は値上げしたいが、そこまでの需要増が見込めない。(東京:問屋) 今ひとつ仕事が伸びないため、なかなか単価が上がりにくい。(東京:問屋) メーカーは値上げを要求しているが、値上げして売れるような状況ではない。(東京:問屋)		
集成材	値上げの声あるが現実にはなかなか上昇せず。(東京:問屋) 問屋が言うほど値上がりせず。(大阪:仲買小売) 12、1月入港の先物のオファーが出たが需要少なく数量が集まらない。ラミナ価格50円/本の上昇。製品値上げしたいが需要がいまいち。(東海:外材問屋)		
合板	針葉樹合板、やや上昇。(東海:外材問屋) 減産が功を奏しやや強気ムード。(東京:仲買小売)		